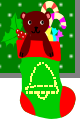




クリスマスコンサート新聞



実行委員長へのアンケート、第2弾。
今だから語れる、今だから伝えたい！岸さんの熱い思いとは・・・。

【質問事項】

- ① 実行委員をやって良かったことは何ですか？
- ② あなたにとって、クリスマスコンサートとはどんな存在ですか？
- ③ 今年のテーマは『いのち輝くホスピタリティ』ですが、あなた自身の「いのちが輝くこと」といったら何ですか？



なにに、お花がよく似合うって？
そうでしょう♪
10月14日が誕生日でした。

緊急アンケート第二弾！



岸礼子AC(看護部・2007年委員長)

テーマ『あなたがいてくれてありがとう』

- ① あの時は、委員の経験もなく、実行委員長という大役でしたので、委員メンバーや委員以外の多くのスタッフ達に本当によく支えて頂き、全員で作りが上がることが出来ました。お陰様で、各部署のスタッフ達とのつながりが強く深まったと実感しています。看護部だけでなく、各部署全てのスタッフ達が、病院を支えるために、大変多くの細やかな役割を担ってくれていることに気づかされました。また、当院が成り立つためには、入院・外来の患者様だけでなく、当院を理解し、応援してくださっている近隣の方々や、各業者の方々、かつての患者様やご家族、その他応援してくださっている多くの方々あってのことだと気づかされました。いち看護師としての業務だけでは見えてこなかった部分、病院が成り立っていくのに大切な、取り巻く人達のことや、自分の部署以外の仲間達のそれぞれの役割について知り、感じられたことは、とても大きな収穫でした。今、当院の仲間達に誇りを持って、信頼し合っているこの病院が好きで、苦勞しながらも楽しく仕事をさせていただけるのは、この時の体験があったからだと感じています。支えてくださった数多くの仲間達に改めて感謝です。
- ② 病院で行うからこそその意味を考えています。当院は、クリスチャンの病院ではありませんので、宗教的なクリスマスや、ただクリスマスの雰囲気楽しんで過ごすというものではないと思っています。闘病されながらも、季節を感じて頂きたい思いもありますが、何より、このひと時の間だけでも、疲れてしまった心の元気を、ほんの少しでもとり戻すことができるよう、「薬や手術以上の力に変えるんだ！」という強い思いで、作り上げていけたらいいなと思っています。集う人達の思いが結集すれば、必ず誰かの心に届くものだと信じています。「人が人を癒せるのだ」ということを、医療者も参加される方も実感できる素敵な機会だと考えます。
- ③ いのちが輝く時ってどういう時だろうか？改めて考えたことがありませんので、今回じっくり考えてみました。笑っている時、感謝の気持ちであふれている時、どん底の中にあっても希望の光を見つけることが出来た時・・・きっと輝いている時って、その時は自分では気付かないものだろうなあと思います。例えば、「あっ、あの時私輝いていたなあ・・・」と後になって気付いたり、「あの人が今輝いてるな」って他人が感じたりするもののように思います。きっと魂が純粋な状態である時なのだろうなあと思います。だから自分では意識していない・・・見える能力のある人にはきっと本当にその光が見えるだろうなあと思います。

2007年は、素直に「ありがとう」が、心に宿るようなコンサートでしたね。薬や手術をも上回るような、手づくり感のあるコンサートを、今年も引き継いでいきたいと思っています。岸さんありがとうございました。

川越胃腸病院 クリスマスコンサート実行委員会 監修



クリスマスコンサートまで

あと **61** 日